

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	B-Core.Club		公表日			令和7年3月10日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		○その日の利用定員によってレッスンなどはグループ分けをしている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		○利用定員や子どもの状態等に対して職員の配置や人数を変えたりしている。 ○日々気を付けて確認をおこなっている	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		○それぞれの活動場所がバージョンで区切られている。学習スペース、トレーニングスペース、くつろぐスペースと分けられており子供たちが選択出来るようになっている。 ○視覚的構造化などを行っている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		○日当たりがよく換気の徹底をおこなっている。毎日の掃除と毎週木曜日は全体を時間をかけて行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		○落ち着かない際は事務室にて落ち着くまで過ごせるようにしている ○子どもによっては個別でのトレーニングを別室などで行ったりしている	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		○PDCAをおこなう会議で情報共有をしっかりとしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		○評価表の集計後に回覧で全職員に周知し検討をおこない改善している。保護者からの意向なども職員間で共有している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		○毎日の申し送り等で全職員の意見を聞き情報共有を行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4		○第三者による外部評価をしっかりと受け止めたうえで結果の周知を行い業務改善を行っている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	4		○3事業所合同のLivelyの研修を月1回おこなっている。外部での研修も積極的に参加している。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		○支援プログラムの作成を行い、保護者などへの公表が出来ている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		○個々に応じたアセスメントを実施し子どもと保護者のニーズを分析した上で計画作成を行っている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		○モニタリング会議で職員間の意見を出し合い情報共有を行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		○サービス計画の回覧を行い職員間で情報共有を行っている。支援内容の確認も行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		○子どもの適応行動の状況をアセスメントにより確認をおこなっている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		○放課後等デイサービス計画にはガイドラインのねらい及び支援内容も踏まえながら具体的な支援内容の設定を行っている。また子どもの状況に応じてその都度支援を変更している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		○職員間で話し合い活動プログラムを立てている。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		○活動プログラムがマンネリ化しないように計画を立てている。学校行事などにも配慮しプログラムを工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		○子どもの状況に応じて計画作成・支援を行っている。個別活動・マイパーストレーニング、集団活動・5～6人でのトレーニングプログラムを組み合わせている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		○職員間での日々の連携を大切にしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		○次の日の朝の申し送りで情報共有を行っている。必要な時は当日に行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		○毎日の記録は欠かさずにおこない、また気づいたことはすぐにその場で記録をとるよう心がけている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		○定期的なモニタリングの実施を行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4		○4つの基本活動を取り入れ子どもひとりひとりに合った支援を行っている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3	1	○子どもが自分で選択できるように選択肢のある支援を取り入れている。	○こちらから提供して反復し身に着けていこうとすることが多いので子供たちの発想を広げられるようなプログラムも取り入れていこうとしている。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		○子どもの状況をしっかりと情報共有できるように、発言できるようにしている。また会議前には職員間で情報共有もしている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		○日ごろから横の関係を大切に連携できるような体制を整えている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		○送迎時や電話等で学校との情報共有を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4		○必要に応じて情報共有の場を設定し情報を得ている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4		○スムーズに移行出来るように情報の提供を行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4		○地域とのつながりを大切にスーパーバイズや助言の研修を受け支援へと生かしている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	2	○交流の場が少ないと思うのでもっと機会が増やせるとよい。 ○近隣の公園などへ行く機会を設けている	○他の子供たちとの交流の場があってもいいのかなと思う。地域の子供会なども連携できると良いと思う。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4		○積極的に参加出来ている。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		○送迎時や連絡帳等を通してしっかりと伝達出来ていると思います。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4		○事前に日程調整等を行い人数調整等も考慮した上で声掛けを行っている。		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		○契約の際や保護者総会時に保護者さんにわかりやすいように紙面と一緒に確認しながら説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		○事業所内相談等で家族や子どもの意向を聞き確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		○「放課後等デイサービス計画」の紙面を見ながら詳しく説明を行い保護者から同意を得ている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		○相談があった際にはすぐに責任者へと報告を行い面談を行ったり必要な助言を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4		○年に一回の保護者総会や行事などを通して保護者間の交流が出来る機会の設定を行っている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		○苦情があった際には後日改めて日程を設定させていただきその時の状況説明等を速やかに行っている。マニュアルも作成している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	1	○HPを活用し活動概要等の情報の発信を行っている。	○三か月に一度など通信を出したりHPを更新するなど出来ればよいと思う。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		○日ごろから動画などは後ろから撮影するなど個人情報の取り扱いには十分配慮している。個人のファイル等は鍵付きの棚に保管している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		○意思疎通や情報伝達の際は声のかけ方、話し方、タイミングに気を付けている。わかりやすくイラストでも掲示している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	2	○地域の方々と交流する機会が増えていくとよい。	○地域の方々にもっと事業所のことを知ってもらえるといい。事業所で行事をおこない招待することもいいと思う。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		○Livelyや避難訓練を通して感染症対応や災害訓練などを行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		○BCPを作成し定期的な避難訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		○子どものプロフィール、成育状況等の情報共有を職員間で行っている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		○食物アレルギーのあるこどもについて除去などの対応を取っている。また自宅からおやつを持参してもらうなどの対応もしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		○危険箇所の見直しや対策を行い安全管理が十分な中で支援を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4		○子どもの安全確保に関して避難場所などの周知も家族へ行っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		○ヒヤリハットの回覧を行い職員間での情報共有の徹底を行い再発防止を徹底している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		○虐待防止のための研修を取り入れ適切な対応について学んでいる。研修で新たに知ることがや確認出来たことがあった。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		○身体拘束について事前に十分に説明を行い計画に記載をしている。		